

歩けへんで福井の郷を

阿南健康第11番完歩 福井公民館の道

福井公民館
福井町古津198-2
Tel (0884) 34-2250

福井住民センター
Tel (0884) 34-2001



トイレは曜日・時間
により利用できない
施設があります

橘町駐在所: 27-0054
じそうばし内科外科
福井診療所: 34-3133

歩けへんで福井の郷を

阿南健康第11番完歩 福井公民館の道

- ①福井公民館 ②金刀比羅神社 ③真光寺
 WC 2.5km WC 石段登る 3.5km
- ④杉尾神社 ⑤宗蔵神社・巖島神社 ⑥住吉神社
 600m 1.5km
- ⑦大宮八幡神社 ⑧神宮寺 福井公民館
 1.2km 石段登る 1.2km WC

●**福井川の人柱** 福井川の下流、露田橋の上手に桑野土手というのがある。ここは椿地川合流地点の上流にあたり、水の勢いがいつも激しく、昔から土手の決壊が多かった。このため、付近の農民は修繕費にいつも苦しめられるうえ、来る年も来る年も不作にあえいでいた。そこで考えた末、人柱を建てることになった。人柱を入れてからは、決壊もなくて付近は平和郷になったという。

●**金刀比羅神社** 江戸時代の1696（元禄9）年、讃岐琴平の金刀比羅大権現の分霊を勧請し、市内福井町古津に祀ったのが起こりで、1741（寛保元）年現在地に移して社殿を造営した。現在の社殿はその時のもので、本殿は神明造り、幣殿と拝殿は千鳥波風の入母屋造りの総桧材である。桃山時代の様式を残した変型権現造りで、県下でも貴重な古い神社である。御祭神は大物主命（おおものぬしのみこと）、別名、大国主命（おおくにぬしのみこと）である。

●**竹林** 阿南市はタケノコの産地として有名で、福井・新野・桑野・椿などに竹林が多い。1806（文化3）年頃、福井村中連の岩浅勝太が伊勢参りの折に孟宗竹の親竹を持ち帰り、金刀比羅下の山に植えたところおいしいタケノコが生えてきた。土質と気候が適したこと、雑木林を開墾して竹林にしていたのがタケノコ生産の始まりである。

●**慈眼山 真光寺** 高野山真言宗の寺で、天文年間（1532～1555年）の創建である。本尊の『聖観音菩薩』は「古来より開扉せし事なし」の秘仏である。薬師堂、鐘楼は上にある。

●**杉尾神社** 御祭神は大己貴神（おおなむちのみこと）であるが、武内宿弥（たけのうちすくね）という説もある。大樹に囲まれた山上にある。「往古境内の大樟樹と大宮八幡神社の大樟樹と接続して一大浮き橋を呈せり」と言われた。

●**足神さん** 杉尾神社の北下にある。昔からいざりを祀った神様と言われ、足の神様として信仰する人が多い。現在、道標が建立されている。

●**宗蔵神社・巖島神社** この地域の氏神として古くより祭られている。巖島神社が安産の神様として知られている。

●**住吉神社** 御祭神は三筒男命（みつおのみこと）である。底筒男命、中筒男命、表筒男命の住吉三神。1771（明和8）年、住吉大神を勧請し、1870（明治3）年住吉神社と改称した。鳥居前に南海地震の津波の祈念碑がある。

●**大宮八幡神社** 大宮八幡神社は約600年前から橘浦村・下福井村・椿地村・椿村・椿泊村の5ヶ村の氏神として鎮座していた。また、徳島藩主蜂須賀氏は、社寺の保護と管理を重視したので、この神社も蜂須賀家、賀島家の崇敬社として、社領・修繕費・御供米などの寄進がなされている。祭神は菅田別命（ほむだわけのみこと：応神天皇）で、元は八幡宮といい、神宮寺の構えであったが、1870（明治3）年に今の名称に改めた。境内の大楠は幹周23mにも及ぶ大木で有名である。

●**神宮寺** 御本尊は不動明王で、もともと小谷の一の谷にあったが、行基菩薩の開基で弘法大師が再建した。長宗我部氏に焼かれたが、正保年間（1644～1648年）に秀仙法師が再興した。山門をくぐると般若心経塔、本堂左の石段左に三十三観音の写し、霊場の本尊刻石がある。